



いずみ

令和6年 9月 2日発行

<学校教育目標>
自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/e/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

自分のルーツをたどって

副校長 淋 慎一郎

41日間に及ぶ夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。今年の夏休みは、酷暑でしたね。毎日のように『熱中症アラート』が発令され、外出もままならず、例年とはまた違った夏休みになったのではないのでしょうか。そして普段体験できないことをたくさん経験し、しっかりフル充電して、2学期を迎えていることと思います。

さて、あっという間に過ぎていった夏休みでしたが、今年も車で熊本まで帰省してきました。熊本城に行ったり、父方の実家にお墓参りに行ったりと、短い時間でしたが充実した休みを過ごすことができました。ふと父方のお墓参りをしていると、『淋の由来って何だろう?』と疑問が湧いてきて、ちょっと調べてみました。

私の父方は、熊本県球磨郡球磨村一勝地というところにあります。そこには『淋』という地名まであります。(父方の実家は、日本三大急流の一つ、球磨川を挟んで淋の向かいにある「向淋(おこうそそぎ)」にあります。)さてこの「淋」という字ですが、一般的には「さみしい」と読まれることが多く、意味も同じと思っている方が多いと思います。しかし調べてみると、①水をそそぐ②したたる・滴り落ちるという意味もあるようです。(OK 辞典:<https://okjiten.jp>)



そこで成り立ちを調べてみました。元々「淋」は水が木にしみこんでいく様を表しているそうです。「林」は濃密な木々を示し、「三点水(さんずい)」は水が多くて寂しい様子を形容するということでした。
(<https://keieigakko.jp>)確かに、「淋」の地は山間で、たくさんの木々が生い茂っています。そして目の前には球磨川。水が滴り落ちる場所というの納得できます。また調べていく中で『平家の落人伝説』があったり、一勝地(いっしょうち)の由来もあって、たくさんの問いが生まれてきました。その他の調べた結果は、またの機会にお伝えでき

ればと思います。

今回、「淋」の由来について興味をもち調べてみましたが、探究的な学びを進めていく中で、「これは何だろう?」「もっと知りたい!」「もっと調べてみたい!」と次々に新しい問いが生まれてきました。このような思いを授業の中でたくさん経験させることが、子供たちの学びをより深く、より持続可能なものへとつながっていくのだと実感することができました。

普段とは違う貴重な体験をたくさん経験することができた夏休み。そして、子供たちの興味や思考が刺激された夏休み。2学期以降も子供たちの意欲を高め、学びの楽しさを味わい、問いをもって学び続ける子供たちの育成を目指し、教職員一同精進してまいります。今後とも、皆様方のご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

9月の生活目標

時刻を守ろう

- 登下校の時刻を守ろう。
- 授業に間に合うようにチャイム着席し、授業の準備をしよう。

9月の安全指導

災害時における行動

- 第一に自分の身の安全を確保すること。
災害はいつどこで起こるか分かりません。
また、家族が一緒にいるとは限らないので災害時の行動をご家庭でも話し合ひましょう。